

平成24年度 和水町一般会計 繰越明許費一覧表

事業名	金額	翌年度繰越額
団体圃場整備事業	120,463千円	102,000千円
グリーンツーリズム推進事業	13,650千円	4,831千円
町道継持管理事業	51,040千円	2,600千円
学校統合事業	132,700千円	95,700千円
合計	317,853千円	205,131千円

平成24年度 和水町一般会計 継続費繰越

事業名	金額	翌年度繰越額
学校統合事業	639,300千円	22,020千円



来年4月開校に向け『小中併設型』校舎建築が進む三加和中学校!

一般会計補正予算

平成25年

6月

定例議会
報告

一般会計予算 40,825千円を追加!!

総額 82億25,454千円に増額

平成25年6月定例議会は、6月14日から6月20日までの7日間の会期で開かれました。今回の定例会は、25年度補正予算関連4件(専決1件含む)、条例関係4件(専決2件含む)その他1件、報告4件、人事2件など15の議案が提案され、すべて原案どおり可決承認されました。

又、人権擁護委員2名が推薦・承認されました。

陳情・要望については、7件が審査され学校建設事業に関する要望書については採択、継続審査2件、趣旨採択1件、配布3件となりました。

一般質問は9名の議員が登壇し、主に菊水地区学校建設事業等の問題について、執行部の考えを正しました。

特別会計補正予算

会計名	減額・追加	歳入歳出予算総額
和水町国民健康保険事業	1,491千円追加	1,689,450千円
和水町簡易水道事業	900千円追加	81,401千円

陳情等の審査結果

こうなりました！皆さんからの請願・陳情

平成25年6月議会定例会

受付番号	受付年月日	件名	審査結果	付託委員会
61	平成23年5月31日	建設に働く仲間と地域経済を救うルールづくりに関する請願	継続審査	建設経済常任委員会
161	平成24年7月27日	国宝船山古墳出土品記念展示館の設置を求める要望書	趣旨採択	総務文教常任委員会
343	平成25年1月8日	上和仁地区内の農道の一部を生活道路(町道)への格上げに関する要望書	継続審査	建設経済常任委員会
387	平成25年3月1日	ふたたび被爆者をつくらないために現行法(原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律)の改正を求める議会決議・意見書採択のお願い		配布
60	平成25年5月14日	母(朱春菊)が中国で不法に逮捕されている件に関する要望		〃
61	〃	違法な臓器生体移植を禁じることを求める陳情書		〃
63	平成25年5月20日	学校建設事業に関する要望書	採択	総務文教常任委員会

6月議会議案審議

採決結果

軼(補正予算) : 1件
 専決(条例) : 2件
 条例 : 2件
 補正予算 : 3件
 その他 : 7件
 計 15件

平成25年6月議会定例会 議案一覧(町長提出一覧)

議案番号	議案名	審議採決の結果
承認第 4号	専決処分の承認(平成24年度 和水町後期高齢者医療事業会計補正予算(第2号))	全会一致原案承認
承認第 5号	専決処分の承認(和水町税条例の一部を改正する条例)	〃
承認第 6号	専決処分の承認(和水町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	〃
議案第49号	和水町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	全会一致原案可決
議案第50号	和水町職員の給与の臨時特例に関する条例の制定	賛成多数原案可決
議案第51号	平成25年度和水町一般会計補正予算(第2号)	〃
議案第52号	平成25年度和水町国民健康保険事業会計補正予算(第1号)	全会一致原案可決
議案第53号	平成25年度和水町簡易水道事業会計補正予算(第1号)	〃
議案第54号	和水町過疎地域自立促進計画の変更	〃
同意第 5号	人権擁護委員候補者の推薦	全会一致原案同意
同意第 6号	人権擁護委員候補者の推薦	〃
報告第 1号	平成24年度和水町一般会計繰越明許費繰越計算書	報告
報告第 2号	平成24年度和水町一般会計継続費繰越計算書	〃
報告第 3号	平成24年度株式会社菊水ロマン館の決算報告	〃
報告第 4号	平成24年度株式会社肥後元気村の決算報告	〃

平成25年6月議会定例会 議案一覧(議員提出一覧)

その他 : 3件
 計 3件

議案番号	議案名	審議採決の結果
	閉会中の継続審査(建設経済常任委員会)	全会一致原案決定
	閉会中の議員派遣	〃
	閉会中の継続審査(議員運営委員会)	〃

ズバリ!聞きます

一般質問



杉村 幸敏議員

町の財政状況は大丈夫か？

[町長] 7年間で
43億3,480万5千円の増!

問 学校建設について、三加和・菊水地区の進捗状況について伺う。併せて、今後の進設の最終像について伺う。

答 (町長) 基金については、現在一般会計が11基金、特別会計が3基金で、合併前平成17年度末で29億415万5千円で24年度末で72億3千5百4万円で、7年間で43億3千4百80万5千円積立している。地方債の状況は、91億4千3百3万円が平成24年度末が91億3千7百1万円となりこの7年間で6百2万円の減額となっている。

問 基本的な考えは持っているが財政状況を見すえながら検討していく。コミュニティバス導入について現在検討しているか。

答 (町長) 全額町公費の基本的な考えは持っているが財政状況を見すえながら検討していく。コミュニティバス導入の考えはないか。

問 特別養護老人ホームが、町長の見解を伺う。

答 (町長) 関係課の者が集まり、検討会議を2回程開き検討している。民間で出来る事は、民間でという考えもあるという状況である。今後、会議を重ね検討していく。

平成24年度 株式会社菊水ロマン館決算報告

総括

平成24年度の営業収入は全事業で207,021千円、収入構成は、物産78.5% (162,435千円)、温泉6.8% (14,148千円)、実演11.4% (23,564千円)、カヌーその他3.3% (6,874千円)となりました。物産部門・前年比94.6%・入館者数168,872人、前年比93.6%実質▲9,348千円の減収
実演部門・前年比80.5%
▲5,709千円の減収
温泉部門・前年比100.7%+101千円増収・入館者数65,583人、前年比99.7%
▲156人減少
カヌーその他部門・前年比85.3%
▲1,180千円の減収
要因としては景気低迷さらに、同業他社との競合による顧客の分散化が考えられます。

科目	資 産		差	負 債		差	
	23年度	24年度		23年度	24年度		
現金	2,404	2,714	310	買掛金	1,040	1,055	15
預金	42,080	41,593	▲487	未払金	15,047	14,597	▲450
売掛金	819	771	▲48	未払法人税	595	101	▲494
商品	398	583	185	預り金	479	632	153
貯蔵品	1,546	1,536	▲10	消費税	1,606	1,036	▲570
未収入金	1,963	1,893	▲70	商品券	17	29	▲12
仮払金	39	347	308	リース債務	1,584	1,584	0
仮払・消費税			0	流動負債計	20,368	19,034	▲1,334
流動資産計	49,249	49,437	188	預保証金	4,982	3,854	▲1,128
建物	8,658	8,056	▲602	リース債務	3,807	2,224	▲1,583
付属設備	634	549	▲85	固定負債計	8,789	6,078	▲2,711
車両運搬具	1,207	115	▲1,092	負債計	29,157	25,112	▲4,045
工具備品	175	127	▲48				
リース資産	7,103	4,992	▲2,111				
原価償却累計			0				
差入保証金	300	300	0				
リサイクル	36	44	8				
固定資産計	18,113	14,183	▲3,930	純資産			
フランチャイズ	165	12	▲153	資本金	65,000	65,000	0
下水道負担金	158	58	▲100	利益剰余金	▲26,472	▲26,422	50
繰延資産	323	70	▲253	純資産計	38,528	38,578	50
資産計	67,685	63,690	▲3,995	負債資産計	67,685	63,690	▲3,995

平成24年度 株式会社肥後元気村決算報告

総括

平成24年度の営業収入は全事業で201,698千円、前年差
▲8,992千円の減収となりました。
部門別ではふるさと交流センター44,175千円、前年差
▲137千円減収・利用者数99,730人、前年差+1,984人の増
あばかん家・22,032千円、前年差
▲457千円減収・利用者数49,234人、前年差
▲6,150人の減
緑彩館・75,302千円、前年差+1,144千円増収・利用者数98,765人、前年差
▲2,849人の減
レストラン・25,178千円、前年差+1,626千円増収
加工総菜・34,954千円、前年差+3,779千円増収

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	[24,972,484]	【流動負債】	[13,683,319]
現金	4,198,306	買掛金	4,958,824
預金	15,025,327	未払金	4,852,455
売掛金	973,352	未払法人税等	202,500
商品	2,835,884	未払消費税等	1,780,500
貯蔵品	1,348,571	預り金	244,726
立替金	175,887	生産者預り金	1,644,314
仮払金	22,899	負 債 合 計	13,683,319
未収入金	392,258		
【固定資産】	[3,554,193]		
〈有形固定資産〉	(3,306,553)		
建物	449,908	【株主資本】	[14,843,358]
建物附属設備	1,441,567	資本金	67,000,000
構築物	261,593	(利益剰余金)	(▲52,156,642)
機械装置	22,537	利益準備金	2,500,000
車両運搬具	58,855	利益準備金	1,500,000
工具器具備品	1,072,093	積立金	1,000,000
〈無形固定資産〉	(247,640)	その他利益剰余金	▲54,656,642
ソフトウェア	121,200	繰越利益剰余金	▲54,656,642
電話加入権	126,440	純 資 産 合 計	14,843,358
資 産 合 計	28,526,677	負債・純資産合計	28,526,677

ズバリ!聞きます



小山 暁議員

町民と約束してきた学校統廃合
事業予算[46億円]が
反故にされた責任はどうとるのか?

[町長] 弁解の余地はない!
しかるべき時期に判断したい。

問 今の答弁を聞いて、大変ショックを受けている。なぜなら、本件については、計画段階から町長の公約として、終始一貫していただだけに、この段階にきて見込み違いだったと言われ

答 (学校教育課長) 今回の学校統廃合事業費の増額理由は建築単価と建築面積・造成工事の見誤りによって生じたもので、大変申し訳ない。

問 学校統廃合事業予算は、当初から一貫して、総額46億円(三加和区域10億円・菊水区域36億円)で完遂するという公約であったが、突如として不足することが判明し、大きな波紋を広げているが、今回示された増額の理由と根拠について伺いたい。

も、弁解の余地はない。そこで、菊水区域の最終予算総額はどうか。

問 すでに、現在菊水区域も実施設計とともに、工事に必要な設計図面等の作成が進行しているにもかかわらず、造成工事の事業量や事業費の算定が間違っていたとか、建築単価の見込みも、弁解の余地はない。

答 (町長) 私自身、町民に約束した公約と受け止めている。トップである私が指導不足だったことは否めない事実である。

答 (建設課長) 今回の当初計画のとおり進めていきたいと思っているが、配置等については、詳細に検討しなければならない。

問 第2グラウンドについては、町体育協会や町民の方々から、社会体育施設として町民グラウンドとして活用できるような要望が出ていたが、最終的には、どのようなグラウンドができるのか。

答 (教育長) これまでオーパー分を、最初5億7千万円、次が2億8千万円、最終で3億6千万円を提示してきたが、最終的には菊水区域の39億6千万円の予算枠内で執行できると捉えている。

大幅な増額が必要となった
経緯と根拠は!
その説明責任は?



古閑 修一議員

[町長] 弁解、弁明はないが
しっかり理解を求めていく。

答 (町長) 何回と説明する中で、二転三転している事に関して、今に至っては議会、町民に対しご心配、

問 学校統廃合建設事業費については、議会に対して、4月15日に三加和区域については、追加及び変更は出てきたが10億円以内でおさまる。菊水区域については、41億7千万円、つまり5億7千万円の増額が必要となったと説明。更に5月21日には、2億8千万円の増額で済むようになったと説明したにも関わらず次の6月14日には、一転して3億6千2百万円の増額が必要となったと説明されている。事業が進む中、今ここに来て何故そのような事態が生じたのか、その経緯と根拠について伺うと共に、町民に対する説明責任について伺う。

でも、納得できない。これまで町民と約束してきたことが、反故にされたことは、町民の信頼を裏切る行為であり許し難く、厳しく指摘したい。

答 (学校教育課長) 菊水地区に関して、議会、町民に対して事業費36億円と説明してきた。その後、当初予定していた事業量、事業費の見込み違いと、校舎についても単価設定が甘かったと反省している。

答 (健康福祉課長) 使い勝手が悪い所について改善をお願いしている。今後は、社協の余力に応じて施設の運用を進める。

問 一体どこまで整備しての事業費なのかはつきりしない。最終的にいくらかかるのか。

答 (建設課長) あくまで事業費は39億6千万円である。第2グラウンドの照明とかいろいろあるので今、検討中である。

問 社会福祉協議会移転に伴うあばか人家的の改修について、じっくり検討して進めるべきではないか。



松村 慶次議員

菊水地域学校建設造成事業費 3億6千万円増額! 経緯について町民説明会を。

[町長] なごみ広報別冊4号と合わせて
住民説明会を開催する。

改善委員会で審議し、24年4月から事業の担当課の見直しを図った。又、建設事業を、企画課で進める事は、難しいと判断され、学校建設事業は、技術的な面等も考慮して、25年4月から建

問 学校建設について、学校教育課、企画課、建設課へ、事務分掌変更の、経緯について

答 (町長) 平成21年3月に、菊水地区の基本構想、平成23年3月に、三加和地区の基本構想を策定し、基本構想の元、事務改善委員会で審議を経て事業を進めてきたが、学校教育課のほうから、学校統合事業については、今後更に事務事業の量が増えるから、建設部門を切り離して、ハード面を、企画課へ移行、ソフト面を、学校教育課で担当する見直し案を提案され事務改善委員会で審議し、24年4月から事業の担当課の見直しを図った。又、建設事業を、企画課で進める事は、難しいと判断され、学校建設事業は、技術的な面等も考慮して、25年4月から建

問 学校建設について、学校教育課、企画課、建設課へ、事務分掌変更の、経緯について

答 (町長) 平成21年3月に、菊水地区の基本構想、平成23年3月に、三加和地区の基本構想を策定し、基本構想の元、事務改善委員会で審議を経て事業を進めてきたが、学校教育課のほうから、学校統合事業については、今後更に事務事業の量が増えるから、建設部門を切り離して、ハード面を、企画課へ移行、ソフト面を、学校教育課で担当する見直し案を提案され事務改善委員会で審議し、24年4月から事業の担当課の見直しを図った。又、建設事業を、企画課で進める事は、難しいと判断され、学校建設事業は、技術的な面等も考慮して、25年4月から建

問 増額予算がわかった時点で、何故、議会、区長会、町民に、公表されなかったのか。

答 (町長) 直接携わった者が、内容をしっかり精査し検証し、今日の状況は、こうであると、町民の皆様に対して、なごみ広報別冊4号と、しかるべき上、町民説明会を開催する予定。

問 第2グラウンドの使用時期、グラウンド整備最終予算額は、いくらになるのか伺う。

答 (町長) 将来的な計画に基づいて、整備していく、グラウンド整備費は、3億円は掛る予定。



荒木 政士議員

学校建設予算、大幅な増額を どう説明するか。 又、公約違反の責任は!

[町長] なごみ広報別冊4号と町民説明
会を考える。
何らかの責任は近いうちに考える。

問 私は、学校統廃合建設に関して、町長の公約である。三加和区域10億、菊水区域36億で、日本一の学校を建設し、教育環境をととのえるという説明を信じ、賛成して来た議員として、4月15日の全員協議会の説明で41億7千万の説明に失望と怒りを感じている。又、5月21日の全協で、38億8千万、そして今回39億6千万、これが最終決定なのか。又、町長、教育長は、この増額をいつ報告を受けられたのか。

答 (町長) 学校建設に対しては、公約であった、三加和10億、菊水36億を増額をお願いせざる結果になった事に関しては、申し訳ない思い出で深く反省しお詫び申し上げ、説明責任をたし、ご理解いただきたい

問 学校建設予算3億6千万の増額に対して町長は、町民への説明責任と、公約違反に対する責任をどうとられるかが必要である。議会としてのチェック機能も残っている。学校建設を進める為にも町長の確約をいただきたい。

答 (教育長) 今回の件に関しましては、昨年末に増額になるだろうと報告を受けていた。事業費の見直し、経過報告の説明遅れの結果、町民の皆様に変な申し訳なく思っている。担当者として、深く反省しお詫びする。

問 学校建設予算3億6千万の増額に対して町長は、町民への説明責任と、公約違反に対する責任をどうとられるかが必要である。議会としてのチェック機能も残っている。学校建設を進める為にも町長の確約をいただきたい。

答 (町長) 説明責任については、なごみ広報別冊4号の発刊と、町民説明会を行う方向で調整したい。又、行政執行部の責任においては、懲罰委員会も設定される。そちらへ判断は委ねたい。しかし何らかの責任は、近いうちに判断させていた

ズバリ!聞きます



豊後 力議員

危機的状況にある (株)肥後元気村を再生 できるのか。

[町長] 各方面に配慮しながら進むべき道を見出していきたい。

問 指定管理者として新たに肥後元気村が役割を担うことになったが、未だ事業実績も好転の兆しが見えない現状で、今後どのような役割を持ち、なおかつ地域の活性化に取り組みられるのか。又、経営そのものが危機的状況にあるが、如何に経営再建に取り組みられるのか。

答 (町長) 新たな役員構成により官民一体となる取締役体制を整え、社長に、副町長、総支配人に一般の方を選任し、現場における責任を明確にするともに事業運営に活躍頂きたい、早急な課題として、今の施設で何とか収支を整えていかなないと運営ができなくなる恐れがあり、まずは出血止めをして状況を判断したい。

答 (副町長) 現状における収支が赤字経営の中にあ

問 社会福祉協議会の温泉を活用した福祉サービスの必要性についてどの様な考えか伺う。

又、町長は、あばかん家においては営利を目的とした事業展開はしないと確認されたがその方向性は間違いないか伺う。

答 (事業課長) (株)肥後元気村の役割については交流センター、あばかん家、緑彩館、町直轄であった施設を民間の力で運営することにより、多様化高度化してきた住民ニーズに対応する体質改善及び、活性化する事を目指し設立されている。

答 (健康福祉課長) 温泉を活用した福祉サービスについては、温泉特有である心身のリフレッシュ作用を活用していくことにより介護保険の認定を受ける前の高齢者や、引きこもりがちなど独り暮らしの高齢者の方々に対して有効と考え取り組む。

問 学校跡地等活用検討委員会の指針が示されたが、今後の町長の考えを伺う。

答 (町長) 跡地となる遊休資産を、公平性、公益性のあるものに作り替え果実を生み出す事業展開に努める。



笹刈 賢吾議員

町職員の処分は妥当か!

[町長] 町職員の懲戒処分に関する指針で判断処分している。

問 あばかん家は公衆浴場として再開を。

答 (町長) 社会福祉協議会事務所として改装を検討している。

問 あばかん家の利用者数は23年度55,750人、24年度はレジオネラ菌が出て49,749人。今後の利用について提案する。例えば山鹿平山温泉の元湯は共同浴場、公衆浴場を地域住民で共同経営している。青森県黒石市、黒石温泉郷温湯(ぬるゆ)温泉は地域住民が市から指定管理者制度で指定され運営している。参考にしてはどうか。多くの町民から再開の要望があり要望に添えるのが行政の責務ではないか。

答 (町長) 社協の事業展開を考え改装について検討

を重ねている。提案されたことに関してはしっかりと受け止めておきたい。

問 昨年5月に発覚した職員の不祥事の問題で免職処分以外の職員の処分があったが、腑に落ちない。町職員の懲戒処分に関する指針の処分として免職、停職、減給、戒告があり他に訓告、嚴重注意、口頭注意がある。調査結果は総務課長、会計室長、特老施設長は戒告処分、会計室の同僚職員と特老の同僚職員は上司でもないう理由で戒めのため口頭注意の処分があった。この処分は隣で職員同士がどんな仕事をしているかをお互いにチェックしなさい、スパイ行為をしなさい、見張るときなさいということになる。自治体職員の仕事は住民サービスで職員が力

を合わせていかなければならないのにそれが崩れていく。指針には処分に該当するものがない。処分の撤回を。

答 (副町長) 懲罰委員会で調査し隣で仕事をしていた職員は気配りができなかったので処分した。懲罰委員会の意見を集約して処分したので今でも間違っていないかと思う。

問 3月議会で議会答弁を訂正するとマスコミ各社に送った学校教育課長は議会軽視で議会を侮辱している。処分を求める声は多い。処分すべきではないか。

答 (副町長) この件は懲罰委員会で調査しているがまだ調べたいことがあるので判断はくだしていない。

ズバリ!聞きます



庄山 忠文議員

三加和小学校開校と 通学道どうなる?

[町長] 道路及び中山間地整備事業と
一体として早く整備したい。

答 (町長) 緑地区と春富地区をむすぶ主要道路で1,300mが未改良の為現在整備を進めている。三加和中学校側より350m区間の測量設計をし地権者の方に説明を行いほぼまとまりつつある。今後のスケジュールは、今年度160mを10月頃着工予定、26年度については残り190mの改良と舗装を実施の予定である。それ以降の区間については中山地域整備事業との関連で事業課と協議を行い用地は相殺換地で進めていく。この道路は基盤整備と一体として、早く整備したいと思っている。

問 通学道西光寺中林線の改良と有山地区の中山間地域整備事業の進捗状況はどうなっているか。

答 (町長) 緑地区と春富地区をむすぶ主要道路で1,300mが未改良の為現在整備を進めている。三加和中学校側より350m区間の測量設計をし地権者の方に説明を行いほぼまとまりつつある。今後のスケジュールは、今年度160mを10月頃着工予定、26年度については残り190mの改良と舗装を実施の予定である。それ以降の区間については中山地域整備事業との関連で事業課と協議を行い用地は相殺換地で進めていく。この道路は基盤整備と一体として、早く整備したいと思っている。

問 学校建設について三加和地区の小学校建設における今後のスケジュールはどうなっているか「建設、開校、開校」又、菊水地区の小学校建設における予算オーバーはなぜか、安全、安心の学校を作る事が大事ではないか。

答 (町長) 三加和小においては用地取得、グラウンド整備工事もほぼ完了し、校舎、体育館も7月末日で完了予定で現在順調に進んでいる。完了後、中学生の移動を行い8月より中学校校舎の改築、プールの改築、給食室の改修、学校周辺道路の整備等を行い26年1月末の竣工予定である。野球場の整備は学校側と協議をし安全整備をしていく。開校については各学校より校旗を町へ返し地元主催の開校記念事業を開催していたら



蒲池 恭一議員

三加和中学校の 野球グラウンドの整備を 早急にして頂きたい!

[町長] 早急に対応する。

問 三加和中学校の野球グラウンドの建設計画は内藤橋の所の山砂をただ持ってきて、そのまま野球グラウンドが出来ると思われたのか、今の状況がどうなのか把握されているか何う。

答 (学校教育課長) 内藤橋の山砂で盛土をして、それで、使えるところを考えていた。又、現状は石ころがかなりあり、水たまりがあると確認している。

問 指定管理者である肥後元氣村について、平成24年度も大幅な赤字が出ているが、交流センター、緑彩館の今後の進め方について何う。

答 (町長) 今年度に入りレジオネラ菌が、また発生をいたし、年度スタートから大変厳しいスタートを強

問 伝統ある三加和中学校の野球部である。学校建設によって、子どもたちに迷惑が掛からないようにしてやるのが、私達大人の責任だと思ふ。最後は町長の判断だと思ふが何う。

答 (町長) 現時点において子どもたちが安全でスポーツできるための施工に関して、早急に対応する必要がある。

問 石ころが沢山あり、滑り込みが出来ない状態です。盛土をしながらと幾らかかるのか何う。

答 (建設課長) 正確な計算はしていないが、山砂50センチ仕上げの場合、約1,000万円弱必要ではないかと考える。

問 今後の交流センター、緑彩館について町民の皆さん方の意見を聞くために検討委員会を立ち上げて、区長さん等のご意見、町民の皆さん方のご意見を聞きながら検討されてはいかかと思ふが何う。

答 (町長) 全員協議会(全議員による会議)、区長会、町民を代表する方々がおられるので、開かれた形の中で話を聞きながら検討していく。

問 今後の交流センター、緑彩館について町民の皆さん方の意見を聞くために検討委員会を立ち上げて、区長さん等のご意見、町民の皆さん方のご意見を聞きながら検討されてはいかかと思ふが何う。

答 (町長) 全員協議会(全議員による会議)、区長会、町民を代表する方々がおられるので、開かれた形の中で話を聞きながら検討していく。